

適用外使用に関する公開情報

名称	ICG（インドシアニングリーン）蛍光法を用いた手術前マーキング
対象者	胃癌、大腸癌に対するロボット支援下手術、腹腔鏡手術を受ける方
承認日	西暦2025年11月4日
実施期間	承認日以降
目的・意義	胃切除時や大腸（結腸、直腸）切除時の腫瘍位置や切除範囲の決定 これまで手術中に切除範囲を決定するため、点墨やクリップによるマーキングを行っていました。点墨によるマーキングでは広がりすぎて場所の特定があいまいになったり、黒く変色する領域が増えることで緻密な手術操作に悪影響を及ぼすことがありました。またクリップに関してもX線透視下での確認が必要となり、腹腔鏡手術、ロボット手術など手術室内に多くの機材が並ぶ中でX線透視の機材をいれることは多くの調整が必要で手術操作の中断、手術時間の延長につながっていました。その他、手術ベッドの調整、操作範囲の制限、放射線被ばくの問題などもありました。そこでICGを用いた蛍光イメージングが有用と考えられます。
使用方法 概要	手術の数日前から前日に内視鏡下（上下部消化管内視鏡を使用）にマーキングを行います。これまで行ってきた点墨、クリップでのマーキング操作と同様の方法であり、点墨に代わりICGを用いることになります。
予想される 不利益と対策	ICG自体は肝機能検査や手術中の血流評価などで静脈内に投与して使用されている薬品になります。またICGの局所注入に関しても乳癌や悪性黒色腫、子宮頸癌、子宮体癌の手術で適応となっています。使用する量も少量ですので、安全性は確認されています。マーキング手技に関しても従来の方法と同様であり、ICGマーキングで特別なリスクはありません。但し、試薬に対するアレルギーが有る場合は、他薬剤と同様アレルギー反応を認める場合があります。
治療費について	この治療にかかる費用は通常の保険診療と同じです。この治療による副作用が生じた場合も保険診療になります。国の副作用被害救済制度の対象にはならない場合がありますのでご了承ください。
問い合わせ先	国立病院機構金沢医療センター外科 電話 076-262-4161